

ナマステ！ネパール便り第3弾をお送りします。

9月終わりに、いきなり事務所の副代表に呼び出され、アジア・太平洋地域事務所に申請していたスタッフの研修費用が出ないことになったので、外部講師を呼ぶことができなくなった。予定していたRBM（Results-Based Management）の研修は、内部の人たちだけでなんとかやり遂げて欲しい。ついては、10月中旬にある地域事務所の会議で、1日ワークショップをやってくれないか。もう地域事務所とは話がついている・・・という話を持ち出されました。



<今回、RBM研修を行った UNFPA の地域事務所のある Janakpur の街並み>

前々から RBM 研修をやろうという話があったのですが、外部から講師を呼ぼうという話をしていたので、なんとなく呑気に構えていたところ、いきなり自前でやれという話。そして10月中旬というと、実質的に、あと1週間ほどしかありません。しかもネパール事務所で過去5年間 M&E を担当して来たローカル・スタッフは休暇中で、研修の前日にしか戻ってこないという状況です。

しかし、ここで NO という選択肢はありません。幸い、Monitoring & Evaluation (M&E) チームにはもう一人のスタッフがおり、なんとか二人が協力してやっていくことになりました。まず、私がコンセプト・ノート、そしてタイム・テーブルを作り、それを基に二人の役割を分担。お互いに必要な資料を読み込み、パワーポイントの資料を作り、地域事務所にも連絡をとり・・・というように、必要なロジ（手配）と、コンテンツの作成を並行して進めているうちに、あっという前に本番を迎えました。

研修では、現場のスタッフに RBM のコンセプトをただ理解してもらうのではなく、自分たちでもサポートしている団体に説明できるようになってもらうため、できる限り双方向にし、ディスカッションやグループ・ワーク、ゲームなどの機会を設けるように工夫しました。お陰様で、終了後のアンケートでは、満足が半分、まあまあ満足が半分と、なかなかよい反応を得ることができ、私たち M&E チームも、ほっと胸を撫で下ろしました。



\*\*\*



研修中、いちど空気がたるんで来たので、じゃあ皆で立って一度身体を伸ばしましょうと促し、ダンスでもしますか？と冗談で持ちかけたところ、皆の顔がすぐに明るくなり、すぐに携帯をスピーカーに接続し、踊りが始まりました。ビデオを撮ってみなさんにお見せしたいくらいのノリの良さで、眠気が一度に吹っ飛びました。ネパールの人は、歌や踊りが大変上手。写真ですとそのノリが伝わらず残念です。

研修中のダンスシーン。